

今庄中心市街地の活性化を願って

JR今庄駅周辺整備事業 推進に要望書を提出

5月23日、「今庄中心市街地活性化委員会」（寺田和義会長）から、JR今庄駅周辺整備事業に対する地域住民の意見を取りまとめた要望書が増澤町長に提出されました。

寺田会長は、「今庄中心市街地活性化委員会」は、区長会、商工・観光関係者などで構成し、今庄地区の中心市街地の活性化を目的としている団体です。今庄地区の豊かな地域資源の活用を図りながら、地区が一体となって、住民主体のまちづくりを進めていきたいと願っています。



JR今庄駅周辺の整備に向け、今回の要望の内容は、駅のバリアフリー化、旧北陸道のイメージを活かした駅前広場の整備、駅を中心とした観光振興などを盛り込ませてもらう、駅周辺の整備後の施設の活用や、清掃などの維持管理は、地区で主体的に取り組んでいけたらと考えています」と、増澤町長に要望書を手渡しました。

これを受け、増澤町長は「今後の事業実施に向け、要望書を十分に検討し、協議していきたい」と話しました。

現地を見て回りました

集落要望現地調査

町では、5月8日（月）から8日間をかけ、74集落から要望のあった事項を、町長をはじめ仲倉県議会議員、担当課長等が現地に出向き調査する集落要望現地調査を行いました。

続けて現地調査は、要望件数440件の中から、主に新規要望について、約360箇所を見て歩きました。

要望事項は、道路の拡幅や修繕、街灯やごみ置き場の増設、カーブミラーの設置、用排水路の改修などに加え、今冬の豪雪被害によるものも多くありました。

この現地調査の後、町では、現状や必要性などを十分に検討し、6月下旬各区長に対し回答しました。



寄付をありがとうございます 1円セール売上金寄付

（株）コープたけふ
Aコープ南条店から

6月7日、（株）コープたけふ（上嶋勉代表取締役）から、町内の小、中学校にと2万円の寄付がありました。これは、Aコープ南条店の店頭で行っている1円セール売上金で「1円セールは4月20日から行っているんですが、小、中学校に贈ると

いつと、家にあつた1円玉をたくさん持ち込んでくれる人もあるんですよ」と佐治店長。約1カ月半で2万円に届いたということで、この後も、寄付を続けたいと話していました。

町ではご好意に感謝し有効に使わせていただきます。